

## ○ 10/6、10/14、生徒総会、生徒集会での押え

下記は生徒総会や生徒集会で、生徒会長から全生徒に投げ掛けられた内容。

○今回の「制服・校則の見直し」で視点として進めてきたことや、話し合いの中でこれを大切にしていかなければいけないことが明確になったので、最初に生徒の皆さんはその内容については理解を深めて欲しい。

1 「制服・校則の見直し」の視点としては、生徒が生きづらさを感じている規則などについては積極的にそれを解消していくようにした。

2 見直しの際に、全生徒が今後、理解し意識を高めていかなければいけないことは、「今回、生徒自らが見直しを行ったように、自分たちで作ったルールであるからこそ、生徒自身がルールを守る意識をしっかりと持っていくこと」また、「中学生らしさ、派手でないもの」などの抽象的な言い回しは削除しましたが、大切なことは、「生徒一人一人が自分自身で正しい適切な判断ができるようになること」です。また、その中で、「判断に困ったり、生きづらさを感じている場合は、生徒の中で話し合いを持って解決をしていく、見直しを図っていくこと」が大切だということです。

## ○ 以下は 9/24 プロジェクト会議の記録を示す。

・委員から今までの話し合いの経過や内容の説明が最初にあった。

<意見など>…それを受けてプロジェクト委員に意見を求めた。

3 年Aさん…今までこのような「校則を見直す」などの活動はなく、その活動が実際に進められ、原案ができていることはとても素晴らしいと感じた。是非、今後もこのような活動を大切にしていけるといいと感じた。

3 年Bさん…自分も市村さんと同じに感じました。

○その他の委員についても推進委員の方から質問したり、教師の方からファシリテートして議論を活性化した。その結果以下のような意見が出された。

・靴下の色は、色指定をなくすのではなく、選択肢を増やす方法をとったが、それはなぜですか？

<回答>靴下は、教室へ身に付けてくるものであるため、とんでもない色のものを付けてくると、学習の雰囲気壊し、学習に支障をきたす恐れがあるため、今までよりも選択肢を増やしてそのような問題が起きないようにするための案とした。

・ただ、マフラー・手袋などは派手な色でないものとあるが、靴下は派手でないものから選択肢を増やし、マフラー・手袋は派手の色でないものとして残すのは矛盾していないか。

<回答>その通りだと思います。この派手でないものの指定を削除したい。そして、靴下は色指定をして、マフラーや手袋は色指定を削除するのは、マフラーや手袋は、教室で学習をするときに着用するものではなく、学習に支障をきたす恐れはないため。

・キーホルダーの指定があるのは、なぜ？

<回答>自分のものと他人の物を区別するためです。

・キーホルダーは 1 個でないといけないのですか？3 個ではだめですか？なぜ、3個ではだめですか？

〈回答〉理由は見当たりません。この問題も、「学校に不要物を持ってこない」という大原則をそれぞれの生徒が正しく判断できれば、いらない規則だと思います。そのため、この規則も削除します。

前提となるのは、常識的な数とか、色とか高価でないものとか、自分でしっかり選択できる判断力を持ちましょうと生徒自身(プロジェクト)が呼び掛けていくことが大切だと思います。そして、そうでない人が出てきたときには、その人と話し合っていくことが大事だと考えます。

・校則にはないのですが、ヘアピンや髪を縛るゴムさらには、カチューシャなど、口頭で、黒や紺と言われてきていましたが、それはどうですか？(シュシュも同様に)

〈回答〉規則にないものであるので、自らが適切に判断して付けてくれば良いと思います。ただ、それについては、黒や紺でないといけないと思込んでいる人もいますので、色が決められているわけではなく、自分で正しく判断することが大事だと伝えていきたいと思っています。

・ヘアピンやゴムなども色を自分で正しく判断することだということですが、先ほど出た靴下の色と矛盾するところがあるような気がします

〈回答〉確かにその通りです。自らが適切に判断していくことができれば、靴下の色を指定する必要はないと思います。無地でワンポイントという条件だけでいいと思います。

○最終的に大切なことは、「常識的な、色や形、持ち物を自分たちで適切に選択できる判断力を持つようにしようと、生徒自身で啓発していくことが大事」また、「もし、人に迷惑をかけるという問題や生きずらさの課題が出てきた場合は、生徒自身が働きかけて話し合い解決していくことが大事」ということです。

会の終わりに、CさんやDさんに、感想などを聞いてみたところ。

Cさん・・・「十分意見はいえた？」という質問に対して「十分言えました。」と応えてくれました。

Dさん・・・「会合の感想はどう？」という質問に対して「こんなに校則の見直しが進んでいるとは思いませんでした。」と応えてくれました。

両名には、家に帰って、考えてみたときに意見が出てくるようなら、遠慮なく、生徒会長に言いましょうと伝えておきました。

また、最初に1年生のEさんに「来年度も、見直し作業を取り組んでみたいか？」聞いたところ、是非したいとのことだったので、「生徒から主体的に取り組んでいくようにしてください」と伝えておきました。